

平成30年度
決算で見る

米原市のお金の使い道

令和元年9月議会で、平成30年度の一般会計、特別会計および企業会計の決算を報告し、それぞれ認定されました。市民のみなさんに納めていただいた税金などが、どのようなことに使われたのか、その概要をお知らせします。

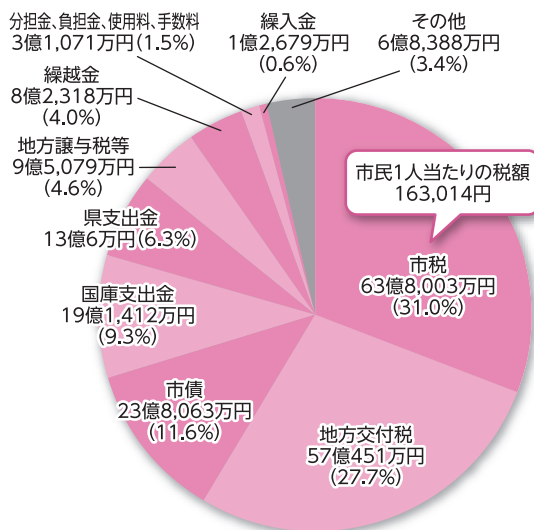
※市民1人当たりの金額は、平成31年4月1日現在の人口(39,138人)で算出しています。

平成30年度 一般会計の決算状況

一般会計は、福祉、教育、公共施設の整備など市の基本的な事業を行う会計です。一般会計歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支は8億7,986万円で、このうち翌年度へ繰り越した事業に必要なお金4,540万円を除いた実質収支は、8億3,446万円の黒字決算となりました。

歳入決算額 205億7,469万円

(前年度比 9億9,063万円減 △4.6%)



歳入の主な内容

●市税

市民のみなさんに納めていただいた税金で、市の収入の約3割を占める最も重要な財源(収入源)です。前年度と比較すると、ほぼ横ばいの81万円の減少となりました。

●地方交付税

普通交付税は、全国どこでも一定水準の行政サービスが受けられるよう、国から交付されるお金です。

国の算定方法の改正等により、前年度と比較すると1億3,900万円の増加となりました。

●市債

施設や道路などを整備する際に多額の資金が必要となるため、国や金融機関などから借り入れるお金です。まいばら認定こども園整備や防災情報伝達システム構築などの大規模事業の完了により、前年度と比較すると、5億6,560万円の減少となりました。

市税の状況 決算額63億8,003万円 (前年度比 81万円減)

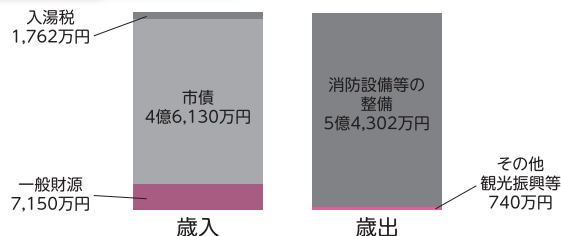
市税内訳	決算額
個人市民税	19億5,269万円
法人市民税	5億3,271万円
固定資産税	34億2,359万円
軽自動車税	1億2,937万円
市たばこ税	2億2,387万円
鉱産税	467万円
入湯税	1,762万円
都市計画税	9,549万円
合計	63億8,003万円
内訳	
現年課税分	63億2,422万円
滞納繰越分	5,581万円



市税の中の、入湯税と都市計画税は「目的税」で使い道が決まっています。入湯税は消防や観光振興のために、都市計画税は、下水道事業や市街地開発事業のほか、これらの整備のために借り入れたお金の返済に使われています。

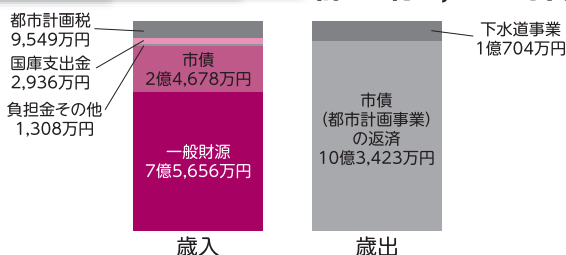
入湯税が使われた事業

計5億5,042万円



都市計画税が使われた事業

計11億4,127万円



歳出決算額 196億9,484万円

(前年度比 10億4,730万円減 △5.0%)

歳出の主な内容

●民生費

まいばら認定こども園の整備や民間特別養護老人ホームの施設整備支援の完了により、前年度に比べて5億8,009万円(8.7%)の減少となりました。

●教育費

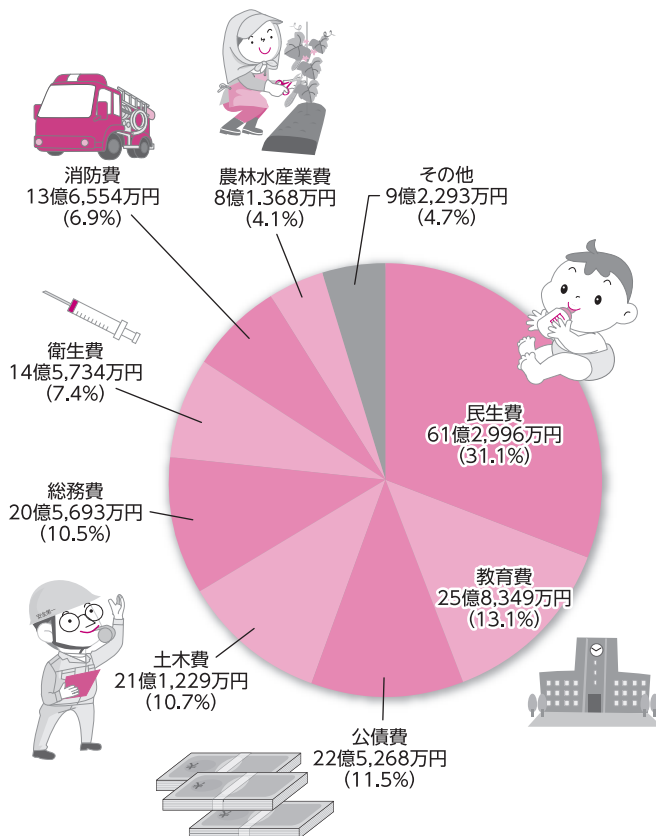
伊吹第1グラウンドの整備など体育施設整備経費の増加や、伊吹山中学校エレベーター設置工事など教育施設整備経費が増加したことにより、前年度と比べて4億6,801万円(22.1%)の増加となりました。

●土木費

降雪量が少なかったことによる除雪関連経費の減少や、米原駅東部土地区画整理事業特別会計の閉鎖に伴う繰出金の減少により、前年度と比べて6億4,683万円(23.4%)の減少となりました。

●消防費

消防本部庁舎建設に伴い、湖北地域消防組合負担金が増加しましたが、防災情報伝達システム構築業務の完了などにより、前年度と比べて4億9,491万円(26.6%)の減少となりました。



市債・基金の状況

市債(借金)の状況

平成30年度末の市債(借金)残高は、繰上償還等を実施したことなどにより、平成29年度と比べて約9億6,000万円減少しました。※特別会計の市債は、廃止などに伴い、平成30年度から一般会計で引き継いでいます。

平成30年度末現在高 **451億8,008万円**

うち一般会計分 **237億5,877万円**

市債

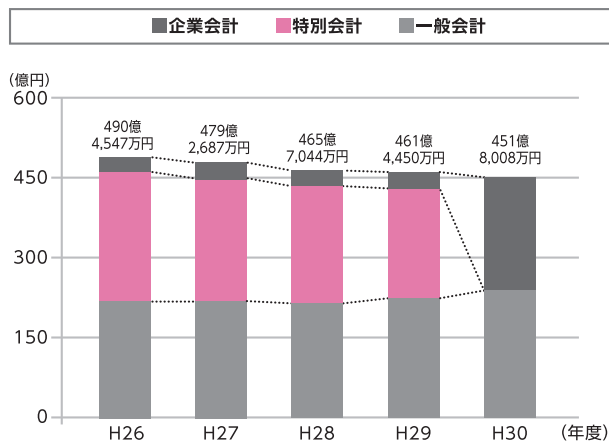
市民1人当たり

115万4,379円

(14,250円減)

うち一般会計分

60万7,051円



基金(貯金)の状況

基金(貯金)残高は、市債管理基金に積み立てたことなどにより、平成29年度と比較して約5億円増加しました。

平成30年度末現在高 **155億5,143万円**

うち一般会計分 **144億7,427万円**

基金

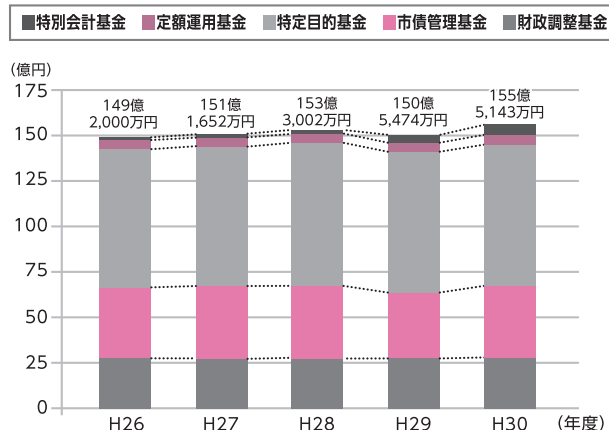
市民1人当たり

39万7,349円

(16,081円増)

うち一般会計分

36万9,826円



※うち一般会計分は、財政調整基金、市債管理基金、特定目的基金の合計

市民1人当たりの歳出決算額と主な事業



民生費

子どもや障がい者、
高齢者のために



1人当たり
15万6,624円
(1万3,311円減)



▲チャイルドハウス近江

○自立支援給付事業	9億8,052万円
○私立保育所等施設整備支援事業	3億3,905万円
○認定こども園管理運営事業	3億4,665万円
○放課後安心プラン事業	2億4,128万円
○福祉医療助成事業 (乳幼児や障がい者、小中学生などの医療費助成)	2億7,673万円

土木費

道路や河川の整備、除雪などのために



1人当たり
5万3,970円
(1万5,906円減)



▲賀目山橋長寿命化工事(入江地先)

○道路新設改良事業 (道路網整備計画2019策定、市道改良工事など)	1億7,803万円
○除雪事業	1億5,383万円
○橋りょう維持管理事業(点検、長寿命化工事など)	1億1,628万円
○公共下水道維持管理事業 (公債費等の負担、経営補助)	12億6,130万円

教育費

幼稚園、小・中学校の維持や
文化・スポーツの振興のために



1人当たり
6万6,010円
(1万2,435円増)



◀ICTを活用した授業



▲伊吹第1グラウンド

○小中学校施設整備事業 (トイレ洋式化、エレベーター設置工事など)	3億7,144万円
○小中学校教育振興事業 (電子黒板等の導入、就学支援、国際理解教育協力員の配置など)	2億 763万円
○体育施設整備事業(伊吹第1グラウンド改修など)	5億2,399万円
○学校給食事業(アレルギー対策、施設修繕など)	3億1,307万円

総務費

市政の運営や自治会、
まちづくりのために



1人当たり
5万2,556円
(161円増)



▲醒ヶ井駅の整備後

○公共交通対策事業 (コミュニティバス、乗合タクシー、鉄道対策)	1億2,885万円
○電算管理事業(システム導入経費など)	1億6,946万円
○統合庁舎整備事業(実施設計など)	8,663万円
○駅周辺地域活性化事業 (醒ヶ井駅前広場整備など)	6,923万円

消防費

消防や火災予防、
災害対策のために



1人当たり
3万4,890円
(1万2,227円減)



◀消防積載車(新規配備)



▶避難所開設運営訓練

○湖北地域消防組合事業 (消防本部新庁舎建設負担金など)	11億1,660万円
○災害対策事業 (災害対策備蓄品整備、自治会防災資機材等整備支援など)	6,911万円
○市消防団事業 (団員報酬、分団活動補助など)	6,749万円

衛生費・農林水産業費・商工費

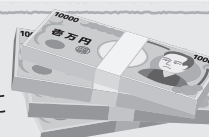
○予防対策事業 (結核レントゲン検診、予防接種など)	9,978万円
○林業振興支援事業 (伊吹山麓道路整備事業など)	6,083万円
○観光振興事業 (石田三成ゆかりの地観光拠点化整備事業など)	3,026万円

公債費

市の借金の
返済のために



1人当たり
5万7,557円
(6,243円増)



○定時返済元金	17億2,137万円
○繰上返済元金	3億4,750万円
○返済利子	1億8,190万円

特別会計・企業会計の決算状況



特別会計・企業会計は、特定の収入(保険料や使用料など)により特定の事業を行うため、一般会計と区分している会計です。平成30年度特別会計・企業会計の決算状況は次の表のとおりです。

特別会計決算額

特別会計名	歳入	歳出	収支差引額
国民健康保険事業	34億8,680万円	34億7,030万円	1,650万円
介護保険事業	40億5,860万円	40億2,627万円	3,233万円
後期高齢者医療事業	4億6,934万円	4億6,099万円	835万円
駐車場事業	385万円	374万円	11万円
合 計	80億1,859万円	79億6,130万円	5,729万円

企業会計決算額

会計名	区 分	収 入	支 出	収支差引額
水道事業 会計決算	収益的収支	8億1,104万円	7億3,509万円	7,595万円
	資本的収支	4,204万円	2億7,006万円	▲2億2,802万円
下水道事業 会計決算	収益的収支	22億8,626万円	21億5,538万円	1億3,088万円
	資本的収支	11億7,813万円	18億7,420万円	▲6億9,607万円

●収益的収支

日常の経営活動に要する収支

●資本的収支

施設の建設や設備投資に関する収支
(将来の経営活動の基礎となり、収益に結び
ついていくもの)

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金等で補填しました

市有財産の状況

平成30年度末の市有財産現在高および年度中の増減は次のとおりです。

●公有財産

土地	1,872,356㎡(15,795㎡増)
建物	206,277㎡(3,673㎡減)
商標権	7件(±0)
有価証券	724万円(±0)
出資による権利	2億1,284万円(±0)

●物品

458点(20点減)

●債権

5億3,601万円(342万円減)



令和元年度予算 上半期の執行状況 (4月1日～9月30日)



9月末で令和元年度も半年が経過しましたので、予算の執行状況をお知らせします。

区 分	予 算 額	収入額(収入率)	支出額(執行率)
一般会計	205億 929万円	99億5,134万円 (48.5%)	79億1,858万円 (38.6%)
特別会計	国民健康保険事業	32億3,992万円	13億5,290万円 (41.8%)
	介護保険事業	40億6,278万円	16億4,629万円 (40.5%)
	後期高齢者医療事業	4億6,520万円	1億8,115万円 (38.9%)
	駐車場事業	650万円	349万円 (53.7%)
	小 計	77億7,440万円	31億8,383万円 (41.0%)
合 計	282億8,369万円	131億3,517万円 (46.4%)	112億7,045万円 (39.8%)

区 分	予 算 額	収入額・支出額	収入率・執行率
企業会計	水道事業	収益的収入	8億4,583万円
		支出	3億1,137万円
		資本的収入	8億 289万円
		支出	2億 56万円
	下水道事業	資本的収入	1億5,662万円
		支出	0円
		資本的収入	6億 780万円
		支出	4億 67万円
企業会計	水道事業	収益的収入	22億5,413万円
		支出	9億4,736万円
		資本的収入	21億4,295万円
		支出	3億5,733万円
企業会計	下水道事業	資本的収入	14億7,866万円
		支出	4億7,893万円
		資本的収入	21億9,695万円
		支出	10億4,123万円

問 市 財政課(米原庁舎)

☎52-1553

FAX 52-4447